

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月19日 更新

事務事業名		老人クラブ活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	7 高齢者の自立と支援体制の充実				所属課	高齢者支援課	担当者名	中山 義崇
	施策の柱	25 高齢者の社会参加の促進				所属班	包括支援センター班	(内線)	1164
予算科目		会計一般	款3	項1	目4	事業連番10435	根拠法令老人福祉法	合志市健康福祉補助金等交付要綱	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市老人クラブ連合会(市老連)及び単位老人クラブ(単老ク)の活動事業に対する援助として補助金を交付する。また国は「老人クラブ活動等事業実施要綱」を定め、都道府県や市区町村を通して、老人クラブに対する公的な補助を行っている。この国及び県からの補助金の交付を受けるための事務を市が行っている。この補助は市老連および単老クに配分される。市老連は、単老ク会長研修等による情報交換、シルバーヘルパーの養成、各種スポーツ大会等による全体交流を実施するなど、単老クの統括、育成をとおして老人福祉の増進を図っている。単老クは、社会奉仕活動、教養講座、健康増進事業等を実施し、高齢者の社会参加・健康づくりを促進している。 合併時に市老連を組織したが、旧町単老の活動に差異(サロン活動の有無や会費・参加費等の負担の有無など)があることから旧町老連を市老連支部とした。統一することによる混乱が大きいと判断されたものである。 役員のなり手がいない等の理由から活動を止める単老クがあった。また、高齢化にも関わらず老人クラブ会員数の伸びが鈍化(H28年度以降は減少)していることから、その増加を目標に活性化会議を行い、老人クラブの意識改革を促している。 また、活性化事業の一環として平成29年度中より老人クラブ活性化にかかる提言書の作成を行うこととなり、委員会を立ち上げた。平成30年度に老人クラブ及び市への提言を行った。
【業務の流れ】	【市補助金】①事業計画承認申請審査(補助金内示通知) ②補助金交付申請審査(補助金交付決定通知) ③補助金概算払申請審査(支払) ④補助事業実績報告審査(補助金交付確定通知・概算払精算手続き) 【その他】①市老連総会への出席 ②シルバーヘルパー養成講座の講師 【県補助金】①補助金交付協議(補助金内示) ②補助金交付申請(補助金交付決定通知) ③補助金概算払申請(受領) ④実績報告(補助金交付確定通知)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	補助金実績報告に領収書(写)を添付しなければならないので、高齢者には手続きが大変であるとの意見がある。 単老ク減少の原因究明とリーダーの育成を行うこと。 高齢者のニーズを把握し、単位老人クラブ組織率の向上とともに、現老人クラブを補完する新たな体制を確立すべきとの意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) ・市老連及び単位老人クラブに補助金を交付し、老人クラブの活動を支援し、老人福祉の増進を行った。 単位老人クラブ会員1,787人(前年度比: -212人)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 老人クラブ活動支援の補助金交付。老人クラブ活動活性化に向けた協議を行う予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア:市老連補助金額	円	単位老人クラブ数の減少による補助金の減
イ:単位老人クラブ補助金額	円	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
単位老人クラブ	クラブ	→ ア:単位老人クラブ数
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
高齢者の社会参加のきっかけとなる	人	→ ア:老人クラブ会員数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
この事務事業の上位基本事業「高齢者の社会参加の促進」の意図が「地域に仲間がいる」であることから、老人クラブ会員数とした。25年度実績値を参考に設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア	円	1,576,800	1,502,400	1,680,000	1,342,400	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000
	イ	円	3,102,500	3,049,500	3,150,000	2,843,500	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
② 対象指標	ア	クラブ	41	41	41	39	41	41	41	41
	イ									
③ 成果指標	ア	人	2,105	1,999	2,200	1,787	2,300	2,300	2,300	2,300
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	1,195	1,198	1,210	1,148	1,148	1,230	1,234
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	3,484	3,354	3,605	3,038	3,567	3,730	3,766
		(A)のうち指定経費	千円	4,679	4,552	4,815	4,186	4,715	4,960	5,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	3	3	1	3	1	1	1
		延べ業務時間	時間	45	230	64	280	64	64	64
	(B) 人件費計		千円	175	875	254	1,019	254	254	254
	トータルコスト(A)+(B)		千円	4,854	5,427	5,069	5,205	4,969	5,214	5,254

事務事業名	老人クラブ活動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 老人クラブ会員数の純増にはいたらず、目標未達成となった。
	② 6年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 どの単位老人クラブも新規加入者が少なく高齢化が進み、会員数が伸びにくい状況にある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 65歳以上の人口が増加しているため会員増加の期待はあるが、健康推進事業やシルバーヘルパー活動、活性化会議を通じたリーダー育成や魅力ある老人クラブになることで会員増を目指す、すぐに成果が向上するものではない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はほぼ市老連と単老クラブへの補助金額であるため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務に係る必要最少の業務時間数である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 法に基づき補助するものであり、公平・公正である。 老人福祉法第13条第2項（老人福祉の増進のための事業）：地方公共団体は、老人の福祉を推進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない。法に基づき県から補助が行われている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 法に基づく老人福祉の増進のための事業への補助金交付は、市が行わなければならない事務である。

3 評価結果の総括（CHECK）

全国的に老人クラブの組織率（団体数・会員数の減少）は低下している。その要因として、若年層の加入がなく役員のなり手がいないことが挙げられる。今後は、活性化研修会とおして魅力ある活動を促し、会員がいきいきとした楽しむ老人クラブ活動にすべく、市老人クラブ連合会とともに老人クラブへの加入促進を呼びかけていく。高齢者の社会参加や生きがいつくりは、地域の結びつきを高めるだけでなく、介護予防にもなっている。行政に代わって実施されている事業も多く、補助の継続は必要。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 老人クラブ連合会及び社会福祉協議会と一緒に、老人クラブ活動活性化に向けた協議を行う。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 市老連及び単位老人クラブの役員のなり手不足が課題である。活性化に向け、老人クラブで活動している人たちと一緒に協議を行っていく。																							